

# SOTOKU

崇徳学園同窓会  
関東支部  
会報  
— 第19号 —

発行：崇徳学園同窓会関東支部 編集：支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-37-20

http://www.geocities.jp/sotoku\_kanto/ mail:sotoku\_kanto@yahoo.co.jp

TEL (03) 3812-1211(代) FAX (03) 3816-1218

ホテル機山館

## いのちを守り自立と共生を基本とする社会の構築に向けての、 教育の一層の深化に対応し、母校の「知徳体のバランス」の とれた教育に期待しましょう

崇徳学園同窓会関東支部会長 **黒川 弘**  
(昭和33年卒)

昨年9月発足の鳩山新政権は、いのちを守る・人間のための経済を目指し、自立と共生を基本とする人間らしい社会を築くため、地域の絆を再生し、輝きのある国、異なる文化を理解し尊重する社会を築くことを宣言しました。そのため人材と知恵で世界に貢献する日本を築く基本は教育であり、子育てを社会全体で応援する。その第一歩として子ども手当の制度及び高校の授業料実質無料化の就学支援金制度を創設しました。また地球温暖化の防止や医療・介護・健康産業の質的充実を図る。そして個人の自立と地域のことは住民が責任をもって決める社会を目指し、既存制度の大改革の方針を打ち出しました。「知・徳・体のバランスのとれた教育」を目指す母校の教育はますます重要となります。

さて、毎年の関東同窓会にも出席され親しくご指導いただき、6年にわたり生徒の指導に全力を挙げられた鳴川則弘校長先生が3月に定年で退職され、4月から新しく吉田義視前教頭が新校長にご就任されました。鳴川前校長のご努力に感謝し、吉田新校長には少子化や価値観の変化するなかでの、積極的な指導を宜しく願います。

仏教精神のもと文武両道の中高一貫の全人格教育を目指す母校は、本年も高校421名、中学145名の新入生諸君を迎えました。大学進学でも大活躍し、国公立大学35名、私立大学409名の合格者、国公立では大阪大学、東京工業大1、神戸大2、広島大5、山口大5、愛媛大3等、関東私立では、中央3、法政7、明治4、立教2、日大11、青山学院2、専修5、成蹊1、成城1、東京理科5、東洋2等80名、関西私立では龍谷14、同志社9、立命館12、関大11、関西学院4、近畿大9等87名、地元広島では広島修道大57、広島工業大32、広島経済大58、広島国際大28、近畿大（東広島）7等200名の合格です。スポーツでも3月には国立代々木競技場での第41回全国高校バレー選抜優勝大会に出場し、一回戦は徳山の阿南工業に勝ち、二回戦で惜敗。また日本武道館での第32回全国高校柔道選手権は、団体では一回戦で香川の高松商に勝ち、二回戦で惜敗。個人でも4種目に出場し、81kg級で宇都宮光樹君が準優勝、無差別級で飯田健伍君が三位の頑張りでした。関東支部の皆さんも多数応援に駆けつけ、鳴川校長先生と一緒に大声援。大変ご苦勞様でした。

関東支部は本年、昭和63年の発足以来23年で会員500名余です。昨年の支部総会は7月10日（金）に鳴川則弘校長、大本和則同窓会長のご出席の下、ホテル機山館で初のバイオリン演奏の導入と参加者全員のスピーチで親しく懇談の華が咲き、連帯の輪の中「二葉山」の校歌斉唱と記念写真撮影で盛大に締めくくりました。総会は当面金曜日と土曜日の交互開催ですが、本年22年は7月10日（土）の12時からです。本部の三役にもご出席いただき母校の近況報告もあります。青壮老の皆様の幅広いご出席をいただき、大いに盛上げましょう。大学生の方は無料です。

## 7月10日(土) 12:00より本郷三丁目に集まろう。

都心に近く、騒音に遠く交通至便の所  
優雅・閑静本郷随一の  
全日本シティホテル連盟員  
日本観光旅館連盟員

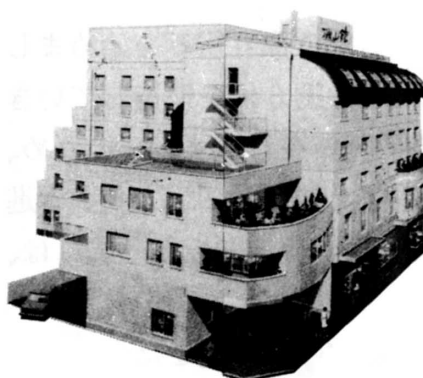
ホテル機山館  
kizankan

代表取締役 **重本 康成**  
(昭和48年卒)

株式会社 機山館  
〒113-0033  
東京都文京区本郷 4-37-20  
TEL (03) 3812-1211(代)  
FAX (03) 3816-1218



最新の設備を整えた宴会室。  
大小5ヵ所の部屋(5名~150名収容)をご用意。  
照明、音響など、どれをとっても重厚かつ格調ある空間づくりです。  
会議室としてもご利用いただけます。



地下鉄丸の内線・大江戸線本郷三丁目駅より徒歩2分 本郷三丁目交差点角交番横入る

昨年11月の広島総会には私と島原代表幹事、渡部・室崎副会長が出席し、関東支部の現況を報告しました。また東京広島県人会副会長の岩部金吾氏、落語界の重鎮の古今亭菊丸さんと柳家福治さん等沢山の同窓の方々が幅広くご活躍中です。プロ野球では広島カープ二軍監督の山崎立翔選手とヤクルト捕手の川本良平選手が活躍中。また執筆では2月に関東同窓会の顧問の西村克哉氏のインタビュー記事が門池敬史著「日本軍兵士になったアメリカ人たち—母国と戦った日系二世」(元就出版社)で紹介され、崇徳中学や海軍航空隊での生活、終戦後のGHQ折衝通説、米国駐留軍の弟との再会等歴史に残る貴重な記事が記載。また理事長の高橋乘宣氏の共著「2010年日本経済「二番底」不況へ突入する」(東洋経済新報社)も安全・安心・健康・快適のキーワードと技術力やサービス力での日本の世界戦略を啓示する素晴らしい書です。私もことばや詩を大切に作る季刊誌「星座」(かまくら春秋社)に「アッパレ広島弁—毛利元就一族」の随筆を連載し、大江広元・元就・輝元・明治維新への敬親・吉田松陰・木戸孝允等の活躍を著述しました。

この一年は、オバマ新政権と鳩山新政権の発足、新型インフルエンザ、政治資金騒動、裁判員制度発足、WBC野球連続優勝、地球温暖化とコペンハーゲン会議、北朝鮮ミサイル問題、足利事件の菅家さん再審無罪、トヨタのハイブリッド事故問題、バンクーバー冬季オリンピック、ハイチ及びペルーの大地震、景気減速と卒業生就職難、インド洋自衛隊の撤収、普天間基地問題、郵政改革の見直し等まさに激動の時代です。西本願寺門主大谷光真著「愚の力」(文春文庫)は、社会の絆が消え一人ひとりがばらばらになった。自己中心思想や人間の絶対化を反省する新たな価値観が大切とされ、仏教の「一切衆生」のつながりがあるから「私」が成り立っているとの世界観を指摘されます。我々も、家庭、地域、学校での総ぐるみの子供教育や介護問題の中で、経験の語りや行動で積極的に「絆」社会の構築に参加したいですね。

同窓会は同窓生の皆様の母校への思いを基礎に「青壮老」全員参加の行動が大切です。会の運営にも遠慮なくご意見をお願いします。現職の方はもとより、会社を卒業され、地域や孫教育や趣味やスポーツに意欲的に参画される方々も、同窓会活動も是非生甲斐の一つに加えていただき、積極的に御参加下さい。ゴルフ会も活躍中です。年齢を問わず幹事増への自薦他薦の動き大歓迎です。幹事会は島原代表幹事、瀧口総括、重本局長のご指導の下、年5回程度です。「応援旗」もあり、必要なときは一緒に母校の応援に駆けつけましょう。

合 掌

## 改革の効果が顕著です

崇徳学園理事長

高橋 乘宣

(昭和33年卒)

リーマン・ショック、ドバイ・ショック、さらにはギリシャの財政破綻と、たて続けに国際的な経済金融危機が表面化するなかで、日本経済もみくちやになっております。たいへん厳しい状況下ながら、崇徳同窓の皆様にはご健勝にお過ごしのことと拝察します。

さて、崇徳教育の再興のために6年間にわたって奮迅のご努力をいただいた鳴川校長が、今春、退任され、吉田校長にバトンを渡されました。吉田新校長も、鳴川前校長と同様に崇徳生え抜きの先生です。生え抜きが2代に亘って続くこととなり、90年代を通じて県教委という外様支配の下に置かれていた母校ですが、これで完全に主権を回復したことになります。同窓の皆様も共々に、同慶のいたりであります。

また、少子化の影響による生徒数の急減を受けて、3年前には学園財務が大幅に悪化し、関係各方面に多大なご心配をおかけしました。しかしこの問題も、事務局の知恵と努力、校長先生をはじめとする先生方の懸命な募集対策などにより、急速に赤字幅を縮減し、22年度予算は、実質的に均衡予算を編成できるところまで改善しました。22年度には、一部老朽校舎の耐震補強工事を実施しますが、この経費もなんとか吸収が可能です。

文武両道の高揚をめざす崇徳教育は、引き続き健在です。進学実績が年によってばらつくのはやむを得ない面があり、今春の実績はやや物足りなさも感じられました。しかし、来春以降は大いに期待できそうな様子です。スポーツでは、柔道やボクシング、弓道、体操など、全国優勝者を輩出しています。チームプレー種目でも、バレーボールなど、全国大会出場が続いていますが、全国優勝まではあと一步の精進が必要とされています。

狭いキャンパスでの練習にはなにかと制約も多いと思いますが、先生方のご指導と生徒諸君の頑張りに期待するところ大であります。

同窓の皆様には、今後とも引き続き熱いご支援をお願いいたしますとともに、機会があれば是非とも母校を訪問し、あるいは試合の応援に行くなどして、後輩たちを大いに激励していただきたいものと念願しております。

## 崇徳学園の一日

崇徳学園校長

吉田 義視

同窓会関東支部の諸兄に初めてご挨拶申し上げます。鳴川前校長のご退職によりまして本年4月より校長に就任しました吉田と申します。元よりの未熟者、また為すべきところ未だ定まらぬ若輩ではございますが、よろしくお引き回しのほど切にお願い申し上げます。

関東支部のみなさまには平素より崇徳学園への多大なるご支援を頂戴しまして真にありがとうございます。みなさまの母校崇徳は、同窓会の物心両面に渡るご援助ご助力があつての今日であると肝に銘じ、心から感謝申し上げます。厚く御礼申し上げます。

さて、ご挨拶に当たり昨年の会報18号を拝読させていただきましたところ、支部会長さまのお書きになられた記事内容と前校長の記事との重複甚だ多く、会長さまの記事にて学園の状況はすでに明らかになっている感がありましたので、今年は少し話題の方向を転じて、昨今の生徒の日常などをご紹介いたしたいと存じます。

校舎（本館）新築以来10余年、生徒たちの一日は「仏参」で始まります。本館に作られた講堂は約500人の収容が可能ですから、高校生は学年ごとに週1度、中学生は全員で週2度、お参りします。講堂は教室と同様に冷暖房完備ですから寒暖の影響を受けず、また防音もしっかりしていますから集中して仏参ができます。6分間の音楽法要です。真宗宗歌、三帰依、念仏、恩徳讃と続いて、最後に教員の短い話（感話と呼びます）で締めくくります。全生徒の参加ですが、生まれれば物音も立てず、ほんとうに落ち着いた一日の始まりです。難点は、お念珠を忘れる生徒が多いこと、歌声が小さいこと（歌わない生徒も）でしょうか。

級長（崇徳は今も「級長」と呼びます）の号令による「瞑想」は、授業の前後に行われています。気持ちを鎮めて勉強に集中する体勢作りとして効果のあるよい伝統です。授業は50分6時間（一部7時間目を実施）です。今年、平成22年の教室はどこも静かであり真面目です。“昭和”の教室を思い出す教員は、まさに隔世の感があると思っています。反面、物静かだが覇気に欠ける生徒が増えている、との古参教員の嘆きも深まっています。それでもクラスによってはワイワイ、ガサガサと教員を困らせるところもあるようで、また居眠り組もいて、同窓生諸兄のころの崇徳との比較では、はたして如何でしょうか。

いつ頃からは判然としませんが、3時間目を終えると伝統に則って“弁当の時間”です。クラブ活動で腹の空く生徒は今もよく食べ、“食の細くなった現代っ子”などどこへやらです。もちろん昼休憩にもちゃんと食べます。食堂のカツ弁（朝注文して3時間目の後で日直が配る）は、今も人気のメニューです。このカツ弁、生徒たちのみならず、卒業生からも年に何度か「注文」の電話が懸かります。「同窓生が久しぶりに寄るのだが、昼食には懐かしい食堂の“カツ弁”が食べたい」と、数個を持ち帰ることも昨年は両三度ありました。

放課後（3時半ごろから）はクラブの時間。全校生の7割がクラブ活動をしています。狭いグラウンドだけを覗いても、硬式野球、ラグビー、アメリカンフットボール、サッカーが汗を流します。昭和42年から移った中学校の校地（年若いみなさんには大芝キャンパスと呼んだほうが分かりやすいでしょう）は、現在はテニスコートなどになりました。そこでも中・高のクラブが練習しています。体育館（バレー、バスケ、体操、バドミントン）、第二体育館（柔道、剣道、ボクシング、卓球）でも汗が飛び散ります。陸上や軟式野球、自転車などは校外に出での放課後です。施設があればとの思いは切実です。

さて最後に、本館が新しくなって以降の崇徳名物を一つご紹介します。結露です。本館の大部分の床はフローリングですが階段や廊下の一部は長尺シートで処理されています。外気が流れ込むとその部分に、秋から春までの湿った暖かい日には水を撒いたように水滴が付きます。ツルリンツルリンと滑ります。靴の履き替えは靴下がビショ濡れです（生徒は校内スリッパ使用）。何とも困ったものですが対処の方法がありません。年に数日のこの“結露”、生徒も教員もそして来客も大弱りの名物です。

とりとめもない母校案内となりました。お許し下さい。母校への今後いっそうのご支援をお願いし、末筆ではございますが同窓生諸兄のますますのご健勝とご発展を念じ申し上げます。

お酒は20歳になってから。お酒はおいしく適量を。

酒 中 心  
さけのなかにこころあり



賀茂鶴酒造株式会社

本社・工場 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町 4-31 TEL(082)422-2121  
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸屋町 1-12-9 TEL(03)3668-4111  
賀茂鶴Webサイト <http://www.kamotsuru.jp>



この一杯は 豊饒の海  
君がいて 宇宙が歌って  
果てもなく 夢かりたてる  
飲よもぎびの夜 辛つらきその日も

## 株式会社 ミユキ技研

代表取締役会長 **瀧口 裕行**  
(昭和30年卒)

本社 〒194-0035 東京都町田市忠生2-5-47  
(食品衛生研究所ビル6F)  
TEL. 042-789-6022 FAX. 042-789-6195  
大阪営業所 〒561-0872 大阪府豊中市寺内2-4-1  
(緑地駅ビル4F)  
TEL. 06-6865-8631 FAX. 06-6865-8630

## 古河ヤクルト販売株式会社

監査役 **島原 昭士**

(昭和23年卒)

〒306-0015 茨城県古河市南町1-62  
TEL. 0280-31-8960  
FAX. 0280-31-2579

内閣総理大臣賞・農林水産大臣賞受賞

広島菜漬

# 安芸菜

— 安芸紫 倭 粽菜 —

野菜でやさしい健康生活



## 山豊 廣島魁

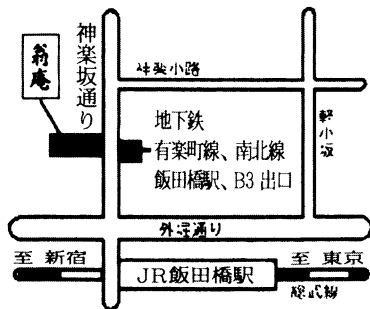
会長 山本 豊 (昭和19年卒)  
代表取締役 山本 千曲 (昭和51年卒)

株式会社 山豊

本社 〒731-3196 広島市安佐南区沼田町伴 79-2  
TEL (082)848-7778 / Fax. (082)848-2334  
E-mail : y-info@yamatooyo.co.jp

おきか  
**生粋心 翁庵**

東京都新宿区神楽坂1-10 アイダビル  
PHONE 03-3260-2715



噺家

# 柳家 福治

電話 五十年卒 本名 山中英嗣  
FAX 〇二一五三七二一八〇二

# 古今亭 菊丸

電話 四四年卒 本名 占部正夫  
FAX 〇三一二八四五一七九  
〇三一二八四二一八七四一  
Email Ushio@aol.com

パーティ・結婚式の司会・余興  
ゴルフ・旅のお供  
引越しの手伝い  
落語会等、その他何でもお電話ください

**BX**

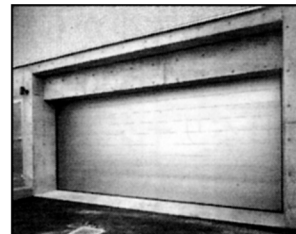
文化シャッター

いろいろなdreamをカタチにしていきたい。

たとえば「スタイリッシュなガレージ」とか「陽射しあふれる部屋」とか…ね。

「shut」だけじゃない。もっと、心に響く発想へ—。

# Bunka X



住宅用オーバースライディングドア  
**フラットピット**

文化シャッター株式会社  
本社/〒113-8535  
東京都文京区西片1丁目17-3

代表取締役会長 **岩部 金吾**  
(S24年卒)

BXは、文化シャッターが未来に向けて挑戦し、進化する姿を示しています。

## 一歩ずつ

崇徳学園同窓会会長

**大本 和則**

(昭和44年卒)

少子化と経済情勢の厳しい中、本年度から公立高校において授業料が無償化になりました。そのことの影響から崇徳学園の生徒数がかなり減少するのではないかと危惧していました。結果としては419名の入学者があり少しほっとしているところです。先生方の努力のおかげであると考えています。

このような厳しい状況下において伝統ある崇徳学園が今後とも発展するために同窓会として何ができるかを考え、実行していかなければと思っています。

最近、同窓会の幹事会において当番幹事を含め若い幹事の積極的な発言がなされるようになり、同窓会も大きく動いていくのではないかと期待しています。

ただ当然ながら多くの幹事の皆さんには本来の仕事があることから、同窓会活動をするのは負担になることも確かです。幹事会の持ち方にも工夫が必要となりますが、同窓会の目的である「母校の発展を計り、会員相互の交誼を厚くする」ことの意義について確認しておくことも同窓会活動を続けていく上において大切なことと考えています。

幹事会の活性化が進まないことから正直なところ私自身焦りを感じていましたが、幹事を含む役員らの活動により少しずつ着実に成果も出てきているのも確かです。これまでどおり在校生に対しても同窓会の存在をアピールする活動である崇徳祭への参加や生徒会、PTAとの会合、各クラブ活動への応援、運動会を含む各種学校行事等への参加を続けています。広報活動としてホームページの充実も計っています。

同窓会総会懇親会についても、昨年度はポスターを作成し、地元大学にも掲示させていただきました。それは卒業間もない大学生にもできるだけ参加してもらいたいとの思いからでした。会費を一般より安くしていることもあると思いますが数名の大学生の参加がありました。今は、まずは多くの同窓生に同窓会総会懇親会に参加していただけるような地道な活動を続けることが大事ではないかと考えるようになりました。

例年の同窓会総会懇親会には約200人の同窓生の参加をいただいておりますが、本年度は300人の同窓生に参加してもらおうべく数値目標をさだめて活動していくことにしています。

関東支部には、崇徳同窓会に対しいつも積極的な応援をいただき感謝しています。相変わらず愚痴のようなことばかりを述べてしまっていますが、関東支部の存在が同窓会の活動の支えとなっていることから頼ってしまっていることを感じています。

関東支部におかれましては、今後とも崇徳同窓会を支えていただきたくよろしくお願い申し上げます。

## ゴルフ部の近況について

ゴルフ部顧問

**本橋 浩**

崇徳高等学校ゴルフ部は、1995年に活動を始めました。

ゴルフ経験者のほとんどは県内の有力校に進学するため、ほぼ全員が高校に入ってゴルフクラブを握ることになります。マナー・エチケットを守りながらプレーし、卒業時には80ストロークを切ることを目標にしています。1998年3月の全国大会では個人戦に1名が出場しました。2010年3月の時点で、1年生2名、2年生9名の部員がいます。2009年度の大会には、主に2年生の2名が出場しました。平均ストロークは100前後で、夏の中国大会では1日目を終わって予選落ちすることもありました。しかし、12月に行われた広島県大会では、1名が87ストローク、もう1名が89ストロークで、出場選手30名中あと一歩で一ヶ台の順位に入るところまで上達しました。

2010年度の大会には、1名でも多くの部員が出場しベストのプレイができるよう練習に励んでもらいたいと思っています。

## 古豪復活へ

サッカー部監督

**重里 求昭**

同窓会関東支部の皆様には、平素より何かとお世話になり、誠にありがとうございます。

松島先生、温品先生に引継ぎ、伝統ある崇徳高校サッカー部監督を任せられ、県内強豪校への復活と昭和51年度以来となる全国大会出場を目標に部員90名とスタッフ5名で日々練習に取り組んでいます。

近年の戦績はベスト8に留まっており、県内強豪校と呼ばれるには、まだというのが現状です。

練習環境の方は、学校内のグラウンドと近隣の公園を使用させていただき、現在では河川敷の方は利用していません。当時と比較しても、かなり改善されているのではないかと思います。

OBの方々に後援会を立ち上げていただき、現役生への援助、また試合会場に足を運んでいただき大変感謝しております。

毎年1月2日に崇徳高校グラウンドにてOB戦を行っておりますので、ぜひ来ていただき当時の話を現役生へ聞かせていただけたらと切に願っています。

今後ともサッカー部の方よりよろしくお願い申し上げます。

## 近畿崇徳会会長よりご挨拶

近畿崇徳会会長

内田 信

(昭和28年卒)

崇徳学園同窓会関東支部の会報も、第19号の発行となり、お目出とう御座居ます。会の運営も発足23年は、会の皆様が大変苦勞された末の事とお察し申し上げます。その会報に寄稿するのは大変光榮であり、一方、紙面を汚すのでは無いかと畏れてもおりますが、まずは拙文をお許し戴き、会の沿革などから述べさせて戴きます。

### 本郷三丁目に集まろう

この文言を拝見すると、何故か心ときめいてくるのです。私は東京生まれでして、本郷に叔母が住んでいたの、よく遊びに行きました。紀元二千六百年の祝賀には、本郷三丁目の停留所で花電車を観ていたのを覚えています。満五歳の時でした。その後大学も中央大学で水道橋校舎、後楽園校舎で学びました。そんな事もあり、なお懐かしいのか、期待で胸が膨らむのでしょうか。そんなご縁が有り、すぐにでも飛んで行きたい気分です。

### 崇徳学園で学ぶ

中学からは親父の関係で、広島へ転居し、崇徳中・高校6年一貫の教育を受け、新制5期の卒業です。中1の時、野球部が復活し6年間硬球を扱いました。人間の形成、情操、精神を創り上げる時期です。この面では久保和彦先生には日夜教えを受けました。竹野恵真校長の話には親鸞聖人の教えがあり、ティーンエイジャーの心に響く何かがありました。

後に母より言われました「野球をやっていたので、不良にならなくて良かったネ」と。

「崇徳興仁 務修礼讓」先達の方々に心より感謝申し上げます。

### OB会を創ろう

大学を卒業して大阪の松下電工（現、パナソニック電工）へ就職しました。以後の平成に年号が替わるまでは、企業べったり、営業担当でしたので全国行脚の繰り返しでした。

時には広島での同期会にも出たり、大学の同窓会にも参加していましたが、大阪でも高校の同窓生が居ましたから、そんな会が出来るかも知れない、と感じました。幸い野球部出身OBが私を含め7人居ましたので早速に収集を掛け、飲み会が出来ました。多分、昭和の60年代だったと記憶しています。折角だからGOLFもやろうとなり「S-OB会」と命名しました。それ以来、年1回正月か年末には集まり、宴を催しています。

### 卒業生交流の意義

近畿に住んでいても、異郷で独り生活している、と云った心境にはならないと思いますが、同窓生に会う機会は少ないでしょう。そのためにも会える機会を提供するのも先輩の役目と考えます。友人から誘われて参加してみる。何度か参加するうちに良さが分かると同時に慣れてくる。各学校には伝統もあり、それを受け継いでいく義務もあるであろう。

会の運営でも参加者の多い少ないは、重要な事項であり、この会でも、最初は順調に伸びて名簿上では30数名、総会出席者でも20名を超えていました。それもバブルだったのでしょうか。特に平成7年阪神大震災以後は、連絡も取れない方々もいる状況でした。

7年前、近畿広島県人会が音頭をとり、県内の学校同窓会支部に呼びかけ協議会を創る事となり、我が会も参加する事になりました。現在15校が参加し、フレンドリーな形で応援も楽しくしています。野球の甲子園、駅伝の京都およびラグビーの花園は、必ず応援に行くべきと協議、決定しているのです。この間野球が1回、駅伝は2回優勝しています。学校の枠を外し、優勝となれば、応援をした充実感を、なお一層味わう事も出来、参加して良かったと思っています。外部団体とも接する機会も有るので、名称も「近畿崇徳会」と命名しました。

### 母校への応援

このところ近畿地区では高校総体が大阪府、奈良県で開催されました。昨夏はバレーボールなど5競技に出場され、微力ですが応援させて貰いました。此方では如何せん、甲子園があり、野球が一番の人気です。是非とも出場されますよう祈念いたす次第です。

### おわりに

同窓会へ参加すれば、人生が充実する訳でもなく、先輩、後輩と接していくうちに、自分の視野が開かれていくのではないのでしょうか。同窓生とも関わりを保ち互いに啓発し、伝統を受け継がなければならないと考えるのです。

若年層をいかにして集めるか、今後の経済社会情勢が急に良くなる筈もなく、近畿地区への大学志望も減りつつあるようです。厳しさが迫ってきています。

関東支部の皆様、どうか叱咤ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

## 同窓会総会に出席して

## 楽しいクラシック音楽を堪能しましょう！ (アトラクション)

2010年7月10日(土) 12:00~ (於 ホテル機山館)

(演奏者)

サクソフォン：作田 聖美さん (芸大卒2007年ルーマニア国際音楽コンクール、グランプリ受賞)

チェロ：福井 綾さん (芸大在学中)